

毎年11月第3木曜日は「ユネスコ世界哲学の日」  
—日本でも「ユネスコ世界哲学の日」をスタートしよう—

開倫ユネスコ協会  
会長 林 明夫

「哲学なくしてユネスコなし」

ユネスコのパリ本部では毎年11月第3木曜日を「ユネスコ世界哲学の日」と定め、様々な活動が行われております。

「哲学なくしてユネスコなし」

平和で持続可能な社会の形成を目指すユネスコ活動は、「真」「善」「美」や「価値」「意味」「秩序」など、哲学の普遍的な課題のみならず、「インターネット」「A I・人工知能」「遺伝子工学」「貧困・教育の機会格差」「テロや大自然災害の脅威」「環境破壊」など、哲学の現代的課題に対しても、真正面から取り組む役割を担っていると考えます。

本日の国連大学での「ユネスコ世界哲学の日」の集まりは、設立10周年の2011年から「哲学の日」の活動をしてきた開倫ユネスコ協会が、スプリングユネスコクラブと伊豆ユネスコクラブにお呼びかけをして、「哲学なくしてユネスコなし、今、哲学しよう」のテーマで開催させて頂くものです。

お忙しい中、御来賓として御参加下さいました皆様、記念講演・基調講演を御快諾頂きました参議院議員猪口邦子先生、Dari K代表吉野慶一様、そして何よりも御来場頂きました参加者の皆様、会場を御提供頂きました国連大学様に、主催者を代表して心より御礼申し上げます。

「哲学なくしてユネスコなし」

今、哲学してまいりましょう。